

小渚沖縄教育研究プログラム等について
（令和 7 年度 ハワイ東西センター連携事業委託業務）

1 ハワイ東西センターについて

- (1) 1960 年に米国連邦議会によりハワイ州に設立された国際的教育研究機関であり、毎年アジア・太平洋諸国の学生、研究者、政策決定者、ビジネスマンを招聘し、国際関係、国際経済、貿易政策、環境、資源、人口、太平洋島嶼諸国の課題について国家レベルでの研究・研修を実施しています。
- (2) 現在、7 万人以上の修了生が米国、アジア・太平洋諸国のリーダーとして活躍しており、世界規模の人材ネットワークを構築している。

2 ハワイ東西センターと沖縄との関わりについて

- (1) ハワイ東西センター（以下「東西センター」という。）は、1960 年代から 1972 年にかけて本県から 400 人以上の研究者・学生を受け入れ、沖縄の戦後復興を担う人材育成に大きく貢献しています。
- (2) その後、日本復帰後は途絶えていましたが、2000 年の九州・沖縄サミットを契機に、ハワイ東西センターの関係者を始め、県内の同窓生や多くの関係者の努力により発足した「小渚沖縄教育研究プログラム」を通じて、これまでに 70 名以上の沖縄県出身の研究者、学生を東西センターへ派遣しています。

3 小渚沖縄教育研究プログラムについて

小渚沖縄教育研究プログラムは、沖縄県とハワイ東西センターで連携して運営しており、ハワイ大学マノア校又はハワイ東西センターへ留学する者の留学に係る経費（学費、寮費、書籍代等）を負担する事業です。

同プログラムには、ハワイ大学マノア校での修士等の学位取得を目的とした「学位取得プログラム（最長 2 年間）」とハワイ東西センターが実施するリーダーシップ養成を目的とした「アジア・太平洋リーダーシッププログラム（約 5 か月間）」があります。

それぞれの基本的な内容について変更の予定はありませんが、募集条件や実施内容等の一部については若干の変更を伴うことがあります。

A 学位取得プログラム（ハワイ大学院留学プログラム）

(1) 趣旨

本プログラムは、ハワイ大学マノア校修士課程以上への留学を通して、産業、経済、学術、教育文化等の分野における沖縄県の振興を担う人材の育成を目的としています。

(2) 概要

ア ハワイ大学マノア校での修士または博士課程の履修と併せて、東西センターの教育プログラムへ参加します。

イ 東西センターに所属することによって、東西センターの学生と世界で最も活力のある地域の発展に寄与している同窓生で構成される、ネットワークの一員となることができます。

ウ 滞在費（一部）、学費、寮費、書籍代及び健康保険費等を本プログラムで負担します。

—— 学位プログラム（ハワイ大学院留学プログラム） ——

ハワイ大学大学院
修士または博士課程の
履修



ハワイ東西センタープログラム（参加条件）

1. 東西センターキャンパス内の寮での居住
2. セミナー、ボランティア活動への参加
(1) セミナープログラム
(2) ボランティア活動（45時間／1年）
3. 東西センターインターンシッププログラム、その他教育プログラムへの参加

(3) 募集予定人数及び同プログラムからの支援期間

ア 募集予定人数：若干名

イ 支援期間：最長2年間

(4) 応募資格

応募者の年齢制限はありません。

ただし、応募資格は次の（Ⅰ）～（Ⅳ）の要件をすべて満たす者としします。

（Ⅰ）日本国籍を持ち、次のいずれかに該当する者

- ① 沖縄県に本籍を有する者
- ② 沖縄県に住所を有し、入学希望前年4月1日現在、引き続き7年以上沖縄県に居住している者

（Ⅱ）最終学歴については次の要件を満たす者

四年制大学卒業者又は入学希望年3月末（海外の大学にあっては入学希望年7月末）卒業見込みの者で学業評定平均値（GPA）が3.0以上の者

（Ⅲ）大学院の課程を修了後、遅滞なく沖縄県に帰還し、留学期間以上の就業義務を確実に履行することができる者

（Ⅳ）英語能力については次の要件をすべて満たす者

- ① 入学希望前々年12月以降に受験した、TOEFL又はIELTSのオフィシャルスコアを保持している者
- ② TOFELオフィシャルスコアがiBT 79～80点以上若しくはIELTSオフィシャルスコアが6.5点以上ある者
- ③ 受験を希望するハワイ大学大学院の学科のTOEFL若しくはIELTSの最低基準値を満たしている者

B アジア・太平洋リーダーシッププログラム (APLP)

(1) 趣旨

本プログラムは、東西センターが実施するリーダーシップ養成プログラムである「アジア・太平洋リーダーシッププログラム (APLP)」への参加を通して、21世紀における地域社会の様々な変化や要請に対応しうるリーダーの育成と、個々のリーダーシップ能力の強化を目的としています。

(2) 概要

ア 政治・経済・学術・N G O等の分野におけるリーダーシップ技術の習得のため、アジア・太平洋地域等の国々から集まる1期あたり約25名程度の参加者とともに、約7ヶ月間、地域問題、リーダーシップ、専門的能力開発セミナー等をオンライン及びハワイ現地で履修します。

ウ 東西センターに所属することによって、東西センターの学生及び地域の発展に寄与している世界45か国・約650人の同窓生で構成される世界規模の人的ネットワークの一員となり、このネットワークを通し関係者と連携を図りながら、各地域での調査・研究活動を広げることができます。

エ プログラム参加費、寮費等を本プログラムで負担します。
プログラム概要については、以下東西センターのホームページを参照下さい。

<https://www.eastwestcenter.org/professional-development/leadership-programs/asia-pacific-leadership-program-aplp>

アジア・太平洋リーダーシッププログラム概要

Overview of Asia Pacific Leadership Program

(東西センターでのセミナー活動(例))

1. 地域問題セミナー
2. リーダーシップセミナー
3. 専門能力開発セミナー
4. ハワイ東西センターセミナー
5. ハワイでの研修活動

(3) 募集予定人数及び留学期間

ア 募集予定人数：若干名

イ 留学期間：約7ヶ月(2025年実施)

(4) 応募資格

応募者の年齢制限はありません。

ただし、応募資格は次の(Ⅰ)～(Ⅲ)の要件をすべて満たす者とします。

(Ⅰ) 日本国籍を持ち、次のいずれかに該当する者

- ① 沖縄県に本籍を有する者
- ② 沖縄県に住所を有し、入学希望前年4月1日現在、引き続き7年以上沖縄県に居住している者

(Ⅱ) 最終学歴については次の要件を満たす者

- 大学卒業者又は入学希望年3月末（海外の大学にあっては入学希望年6月末）卒業見込みの者で、学業評定平均値（GPA）が3.0以上の者
- （Ⅲ） 5年の就業経験を有している。
 - （Ⅳ） 流暢な英語レベルを有している。
※TOEFL又はIELTSのオフィシャルスコアがある場合は、提出推奨
 - （Ⅴ） プログラム修了後、沖縄県へ貢献できる者

(5) 応募者の望ましい資格

- ①海外居住経験や語学能力など、国際性を有している。
- ②所属、地域コミュニティー等におけるリーダー経験を有している。
- ③ボランティアや地域活動の経験を有している。
- ④アジア・太平洋地域振興に携わる活動等の経験を有している。
- ⑤様々な規模のグループでの活動経験を有している。
- ⑥特定の組織、コミュニティー等へ所属している。
※ APLP で学んだことを、プログラム終了後の実生活でどのように活かすかについて、プログラム参加中に説明する必要があるため